

平成30年第8回八雲町議会臨時会会議録

平成30年12月25日

○議事日程

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
日程第 2 会期の決定
日程第 3 議案第 1 号 平成30年度八雲町一般会計補正予算（第10号）

○出席議員（14名）

2番	関口正博君	3番	佐藤智子君
4番	横田喜世志君	5番	斎藤實君
6番	大久保建一君	7番	赤井睦美君
9番	三澤公雄君	10番	田中裕君
11番	牧野仁君	12番	安藤辰行君
13番	宮本雅晴君	14番	千葉隆君
副議長	15番 黒島竹満君	議長	16番 能登谷正人君

○欠席議員（1名）

1番 岡島敬君

○欠 員（1名）

○出席説明員

町長	岩村克詔君	副町長	吉田邦夫君
副町長	萬谷俊美君	総務課長	三澤聡君
		併選挙管理委員会事務局長	
総務課参事	紺谷英友君	企画振興課長	
		兼行財政改革推進室長	竹内友身君
		兼情報政策室長	
新幹線推進室長	阿部雄一君	新幹線推進参事	藤澤久雄君
財務課長	鈴木敏秋君	会計管理者	荻本和男君
兼収納対策室長		兼会計課長	
住民生活課長	川口拓也君	保健福祉課長	戸田淳君
農林課長	加藤貴久君	農林課参事	森太郎君
併農業委員会事務局長			
水産課長	伊藤修君	商工観光労政課長	藤牧直人君
建設課長	馬着修一君	建設課参事	朝倉俊之君
公園緑地推進室長	川崎芳則君	落部支所長	佐藤尚君
環境水道課長	田中了治君	学校教育課長	石坂浩太郎君
教育長		社会教育課長	
		兼図書館長	吉田一久君
学校教育課参事	本庄伯幸君	郷土資料館長	
		町史編さん室長	
体育課長	三坂亮司君	学校給食センター所長	山田耕三君
監査委員	千田健悦君	総合病院事務長	成田耕治君
総合病院施設課長	佐々木裕一君	総合病院庶務課長	福原光一君
総合病院医事課長	沢野治君	総合病院経営企画課長	竹内伸大君
消防長	櫻井功一君	消防本部次長	大淵聡君
八雲消防署長	伊丸岡徹君	八雲消防署管理課長	高橋朗君
八雲消防署消防課長	今村幸一君		

【熊石総合支所・熊石教育事務所・熊石消防署・熊石国保病院】

地域振興課長	野口義人君	住民サービス課長	北川正敏君
兼熊石教育事務所長			
産業課長	田村春夫君	熊石消防署長	荒谷佳弘君
海洋深層水推進室長			
熊石国保病院事務長	桂川芳信君		

○出席事務局職員

事務局長	井口貴光君	併議会事務局次長	岡島広幸君
併監査委員事務局長		監査委員事務局次長	
庶務係長	松田力君		
併監査委員事務局監査係			

◎ 開会・開議宣告

- 議長（能登谷正人君） ただ今の出席議員は14名です。
よって、定足数に達しておりますので、本日の会議は成立いたしました。
これより、平成30年12月25日招集、第8回臨時会を開会いたします。
直ちに、本日の会議を開きます。
本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

◎ 日程第1 会議録署名議員の指名

- 議長（能登谷正人君） 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。
本日の会議録署名議員に関口正博君と田中裕君と君を指名いたします。

◎ 日程第2 会期の決定

- 議長（能登谷正人君） 程第2 会期の決定を議題といたします。
お諮りいたします。本臨時会の会期を本日1日とすることにご異議ございませんか。
（「異議なし」という声あり）
○議長（能登谷正人君） ご異議がありませんので、本臨時会の会期は本日1日と決定いたしました。

◎ 諸般の報告

- 議長（能登谷正人君） これより局長に諸般の報告をさせます。
○議会事務局長（井口貴光君） おはようございます。ご報告いたします。
本臨時会に対し、町長から提出された案件は既に配付しております議案1件であります。
これら議案等説明のため、町長、教育委員会教育長、監査委員及びあらかじめ委任又は囑託を受けた説明員の出席を求めています。
本日の会議に、岡島敬議員欠席する旨の届け出がございます。
以上でございます。

◎ 日程第3 議案第1号

- 議長（能登谷正人君） 日程第3 議案第1号平成30年度八雲町一般会計補正予算第10号を議題といたします。
提出者の説明を求めます。
○財務課長（鈴木敏秋君） 議長、財務課長。
○議長（能登谷正人君） 財務課長。
○財務課長（鈴木敏秋君） おはようございます。
議案第1号平成30年度八雲町一般会計補正予算第10号についてご説明いたします。議案書1ページであります。
この度の補正は、歳入歳出予算の補正であります。歳入歳出予算の補正は、歳入歳出それぞれに17億9,611万8,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を189億1,820万2,000円にしようとするものであり、ふるさと応援寄附金奨励事業のほか、8事業に係る予算の補正でありま

す。

それでは、事項別明細書により歳出から説明いたします。議案書7ページであります。

2款総務費、1項総務管理費、2目企画調査費は財源内訳の変更であり、北海道新幹線新八雲駅周辺整備基本計画策定事業に対し、北海道の地域づくり総合交付金50万円がこのほど認められたことによる財源内訳の整理であります。

7目落部町民センター管理費も財源内訳の変更であり、道の地域づくり総合交付金の決定によるものであります。落部町民センター改修事業に対し、470万円を見込んでいたところ530万円に決定。落部町民センター防災備蓄庫設置事業に対し、120万円を見込んでいたところ90万円に決定したものであり、差し引き道支出金30万円の増による財源内訳の整理であります。

12目地域振興対策費17億7,669万2,000円の追加は、ふるさと応援寄附金奨励事業で、先の第4回定例会における一般会計補正予算第9号議案において申し上げたとおり、12月に入りお歳暮、新年用としての返礼記念品の利用が著しく、推計を大幅に上回っている状況であり、再び予算の追加をお願いするものであります。

状況としては、先の補正予算では寄附金総額を29億3,499万6,000円相当と推計したところですが、12月20日現在、26億4,804万3,000円。12月に入ってから日平均4,800万円、日最大では1億4,300万円の寄付実績であります。

これらの状況から、追加にあたっては12月14日までの実績に、以降12月分を昨年度と本年度の12月上旬期分の実績比較に寄付者の動向について事務代行業者の意見を参考にし、1月以降は昨年度と同規模の件数として試算した結果、寄附金件数・総額をそれぞれ34万7,053件、38億9,349万5,000円相当と推計し、その増額に合わせた予算とするもので、25節積立金に八雲町内の方からの寄付3件28万円を合わせ、9億5,877万9,000円。8節報償費に記念品費4億3,000万円。13節委託料に事務代行業務委託料2億4,910万5,000円のほか、各節に説明欄記載のとおり事務経費の追加をお願いするものであります。

13目災害対策費は財源内訳の変更であり、災害備蓄品整備事業に対し、道の地域づくり総合交付金40万円がこのほど認められたことによる財源内訳の整理であります。

3款民生費、1項社会福祉費、7目ふれあい交流センターくまいし館管理費12万6,000円の追加は、水道引込管の修繕料であります。本件は、12月6日、水道の水の出が悪くなったため調査したところ、水道本管からくまいし館への引込管の破損により漏水している事が判明し、直ちに補修対応したもので、その修繕料の追加であります。

なお、予算措置に先んじて執行したことについては、地域住民の施設利用を保障するために止むを得ないものであったこととあります。ご理解をお願いします。

議案書9ページになります。6款農林水産業費、1項農業費、4目畜産業日1,590万円の追加は、飼養衛生管理（農場HACCP）向上推進事業補助金であります。

本事業は、事業実施主体が株式会社学林ファームであり、当該法人は経営規模を搾乳牛500頭とし、畜舎、搾乳ロボットなど最新の設備を備えたメガファームとして、本年7月に本格稼働したところでありますが、ローリー車、獣医などの関係車両だけでなく、一般車両の出入りがあることから、防疫体制の確立が重要であり、農場HACCPの手法を取り入れた衛生管理を図るとし、その取得に向けた施設整備として、車両出入口に車両消毒装置を設置し、畜舎周辺の舗装工事を施したものであります。この整備費3,445万1,000円に対し、北海道の地域づくり総合交付金を申請していたところ1,590万円が認められたことから、予算を追加しようとするものであります。

6 款農林水産業費、3 項水産業費、2 目水産業振興費 340 万円の追加は、漁業振興設備等整備事業補助金で、内容は、八雲町漁業協同組合がホッキ漁の作業効率の向上を目指し導入しようとする噴流式エンジン付ポンプ 2 台整備費 734 万 4,000 円について、北海道の地域づくり総合交付金を申請していたところ、340 万円が認められたことから予算を追加しようとするものであります。

10 款教育費、4 項社会教育費、5 目郷土資料館費は財源内訳の変更であり、尾張徳川家所有の木彫り熊とアイヌ民具の寄託、整備及び展示事業に対し、北海道の地域づくり総合交付金 20 万円がこのほど認められたことによる財源内訳の整理であります。

以上、補正する歳出の合計は 17 億 9,611 万 8,000 円の追加であります。

続いて、歳入であります。議案書 5 ページであります。

15 款道支出金、2 項道補助金の追加は、いずれも歳出で説明しました道の地域づくり総合交付金の決定によるものであり、1 目総務費道補助金は、災害備蓄品整備事業に 40 万円。落部町民センター改修事業における改修工事分、現行予算 470 万円に対し 530 万円の決定。災害備蓄庫整備分現行予算 120 万円に対して 90 万円の決定で、差し引き 30 万円の追加。北海道新幹線新八雲駅周辺整備基本計画策定事業に対し 50 万円の決定で、計 120 万円の計上。

4 目農林水産業費道補助金は、飼養衛生管理（農場 HACCP）向上推進事業補助金で、1,590 万円。漁業振興設備等整備事業補助金 340 万円の決定で 1,930 万円の追加。これは、歳出と同額の計上であります。

6 目教育費道補助金は、尾張徳川家所有の木彫り熊とアイヌ民具の寄託、整備及び展示事業に対し、20 万円の決定による計上であります。

17 款、1 項寄附金、2 目ふるさと応援寄附金 9 億 5,877 万 9,000 円の追加は、歳出で説明しましたふるさと応援寄附金の増加見込み額であります。

18 款繰入金、1 項基金繰入金、2 目ふるさと応援基金繰入金は地域物産 PR、地域経済振興対策として、ふるさと応援寄附金奨励事業の返礼記念品代及びその送料相当額を上限に、使途を町へ一任されたふるさと応援寄附金を活用しようとするもので、8 億 1,700 万円。

先にご説明いたしました北海道新幹線新八雲駅周辺整備基本計画策定事業及び尾張徳川家所有の木彫り熊とアイヌ民具の寄託、整備及び展示事業に対し、北海道の地域づくり総合交付金が認められたことから、その 2 事業に充当していたふるさと応援基金繰入金のうち 70 万円を減額し、差し引き 8 億 1,630 万円の追加であります。

19 款 1 項 1 目繰越金 33 万 9,000 円の追加は前年度繰越金で、歳出に対応した計上でありませぬ。

以上、補正する歳入の合計は、歳出と同額の 17 億 9,611 万 8,000 円の追加であります。

以上で、議案第 1 号平成 30 年度八雲町一般会計補正予算第 10 号の説明といたします。よろしくお願ひします。

○議長（能登谷正人君） 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑はございませんか。

○4 番（横田喜世志君） 議長。

○議長（能登谷正人君） 横田君。

○4 番（横田喜世志君） 先ほどの支出の項目で、7 ページの民生費なんです。ふれあい交流センターくまいし館の修繕料。これ水道の引込管の漏水があったということなんですけど。まだ何年も経っていないものがどうしてそういうふうになったのか、原因がなんなのか教えて

いただきたいと思います。

○住民サービス課長（北川正敏君） 議長、住民サービス課長。

○議長（能登谷正人君） 住民サービス課長。

○住民サービス課長（北川正敏君） ただ今の質問ですけれども、ふれあい交流センターが建てつけていた管と、昔あった旧福祉センターの古い管をそのまま活用して新しいところに引き込んだというところで、漏水したところが古い管のところだったというところですよ。

○4番（横田喜世志君） 議長。

○議長（能登谷正人君） 横田君。

○4番（横田喜世志君） 民間では、そういうことも考えられるかと思うんですけれども。普通、新しい建物を建てる時には新しい管を敷設するのが普通なのではないですかね。そういう古い管をそのまま使ってというのは、そこは持つだろうという考えの基にそういうことをしたんだと思うんですけれども、結果的には途中で漏水するはめになったんですけれども。なぜ、最初に古い管を使う事になったのかということもあわせて聞きたいと思います。

○住民サービス課長（北川正敏君） 議長、住民サービス課長。

○議長（能登谷正人君） 住民サービス課長。

○住民サービス課長（北川正敏君） やはり、建物を建てる時に費用を節減しようと考えて、古い管ですけれども、持つだろうということで建てたんだというふうに考えております。

○議長（能登谷正人君） 古い管の新しい管の接続の部分でしょ。

休憩いたします。

休憩 午前10時16分

再開 午前10時18分

○議長（能登谷正人君） それでは再開いたします。

他にありませんか。

○9番（三澤公雄君） 議長。

○議長（能登谷正人君） 三澤君。

○9番（三澤公雄君） 2点お伺いいたします。10ページ、畜産業費の飼養衛生管理で HACCP の補助金が出ておりますけれども、この補助金を町の方でこういった補助金を使えるよということで指導した結果なのか、若しくは学林ファームの方からこういった補助金を使いたいと言ってきたのか。ここのところをお伺いします。なぜなら、農場見学者のために HACCP 事業を取り入れたというのは、非常に興味深いです。これまでも大型法人だとか視察を受け入れていたところもあったんですけれども、防疫の事を考えた時にこの HACCP を取り入れたというのは非常に興味深いので。町の方がお勧めしたという補助金ならいいなと思ってご質問いたします。

それともう1点は、ふるさと応援寄附金の個別のことをお聞きしたいんですけれども。八雲町で初めてやっておりますガバメントクラウドファンディングの状況をお知らせ願いたいんですけれども。それは1件だけだと思うので。もし発表出来るのであれば、ちょっと寄付状況をお聞かせ願いたいと思います。

○農林課長（加藤貴久君） 議長、農林課長。

○議長（能登谷正人君） 農林課長。

○農林課長（加藤貴久君） HACCP 事業に至った経過ではありますが、ご存知のとおり、学林ファームいろんな事情がありまして受容開始がずれこんだ部分は、皆さんご存知のところだと思います。そんな中で、町と学林ファームと打ち合わせをしていく中で、学林ファーム自体も当初 HACCP 事業に興味を示していたことは事実です。そういった中で、どうやって手法を取り入れていくのかという部分は、農場 HACCP の考え方は以前からお持ちでしたけれども。

具体的な事業として経費等を勘案した時に、有効な補助事業という部分を町の方からも、あと渡島振興局さんともご相談をさせていただいた中で、一般的な道や国の補助事業ということではなくて、北海道がやっている地域づくり総合交付金の中で取り組めたらという部分を打ち合わせさせていただいたというのが始まりであります。

そういった中で、今回の事業に至ったという部分をご理解いただきたいと思います。

○企画振興課長（竹内友身君） 議長、企画振興課長。

○議長（能登谷正人君） 企画振興課長。

○企画振興課長（竹内友身君） 三澤議員の二つ目のご質問ですが、クラウドファンディングの状況ということでございます。うちの場合、まだクラウドファンディングといった内容ではなくてですね、事業目的を出して募集するというやり方をしております。

今現在、三つのものを挙げてやっております。一つは研修牧場に関する部分。それから、病院の医師確保対策という部分。それから、熊石の振興ということで、この三つについてふるさと応援寄附金の応募をいただいているということ。

まず、研修牧場については、不二家さんとの繋がりができたものですから、ミルキーを中心として記念品を作っております。これについては、現在 76 個セットが寄付の返礼品として扱っております。

それから、病院の方は水の方を扱っているんですけども、これについてはまだ 3 件という状況でございます。

それと熊石の振興ということで、現在米をやり始めてございます。これについては 2 件というところでございまして。

今後、こういった事業をもう少し拡大して行って、より具体的な募集内容で提案していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。以上です。

○9 番（三澤公雄君） 議長。

○議長（能登谷正人君） 三澤君。

○9 番（三澤公雄君） 最初の質問の HACCP の方。農林課の方の説明を聞きまして、心強いです。これからも、各種そういった補助金だとか道の方が準備しているものだとかに精通して、農家のためになるように努力して下さい。よろしく願いいたします。

それと、クラウドファンディングというか、項目を決めた部分では状況は分かりました。引き続き、私も知人の方にいろいろと宣伝等をして充実させるようにいたします。頑張ってください。

○議長（能登谷正人君） 他にございませんか。

（「なし」という声あり）

○議長（能登谷正人君） 質疑なしと認めます。

これより討論を行います。討論はございませんか。

（「なし」という声あり）

○議長（能登谷正人君） 討論なしと認めます。

これより直ちに本案を採決いたします。

お諮りいたします。本案を原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」という声あり)

○議長（能登谷正人君） ご異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決することに決定いたしました。

◎ 閉会宣告

○議長（能登谷正人君） これをもちまして、本臨時会に附議された案件は全て議了いたしました。

よって、平成30年第8回八雲町議会臨時会を閉会いたします。

[閉会 午前10時28分]